



■ 如月(4日は立春)

2月、陽がのびてきました。春が近いと感じることもありますが、極端に寒い日があったり北国では大雪といったニュースもあり、まだ冬は簡単には去ってはいかないでしょう。

この冬はコロナとインフルエンザの両方で多くの感染者が出ると予想されていました。

今までコロナが主役だったのが、ここに来てインフルエンザ患者が増えてきているようです。しかし、少し前まで全国で一日に20万人を超す感染者が発生していたコロナが脇役に回ることはないでしょう。まだ毎日数万人が感染しています。行動制限が緩和され人々の移動が活発化し、海外からの観光客も増えていくであろう中、いつまた10万人・20万人という感染爆発が起きても不思議ではありません。

2月3日は節分、柊鱒を飾り、豆まきでコロナを追い払いたいところ。翌4日は立春。寒風の中でも木々は確実に春の訪れを伝えてきています。中山法華経寺の梅の枝には多くの蕾が連なり、いく輪もの花が咲いていました。(巻頭写真1月29日撮影)



■ 活動報告「Online 会合(1/24)」

今年のNHK大河ドラマ「どうする家康」が始まりました。



今回の会合ではそれにちなんで、家康の両親、子供たちを眺めてみました。現在の日本では少子化問題に直面していますが、当時はどこも大家族でした。まして「將軍家に於いてをや」です。短命に終わる子供たちも多く、お家存続のためには多くの子供を設ける必要がありました。何人もの側室を持ち、その子供たちは幕府の親藩となり、娘たちは全国の有力大名へ嫁いでいきます。下記 URL を参照ください。 <http://jvc-senior.com/20230124online02.pdf>

1月29日には徳川宗家で家康から数えて19代目に家督相続されたというニュースがありました。
https://youtu.be/V_oLFCOO6b8 参照 次回の会合では徳川將軍15代の流れを見ていきたいと思っています。

■ コロナ5類へ(5月8日から)

2類から5類になって何が変わるか、内容の記載はここでは述べませんが、コロナ自身が5月から変わるわけではありません。対応には、今後個人の判断が重要になります。公共の場における個人勝手な行動は一層慎まなければなりません。他人を思いやる気持ちがますます求められることになります。自覚を持った行動を心がけましょう。

■ 今年の10大リスク

正月早々に米国の調査会社から今年の心配事として発表された内容は次の通りです。

1	「ロシア」。世界で最も危険な「ならず者国家」に。ウクライナから撤退しない
2	「中国の習近平国家主席」。権力は集中したが「大きなミス」の可能性も
3	「人工知能」。自動生成される偽情報の拡散で社会の混乱を招く恐れ
4	「インフレ」。世界各地で政治的な不安定につながる
5	「イラン」。抗議デモ弾圧などで欧米と更に対立する
6	「エネルギー危機」。特に今年度後半に需給がひっ迫する見通し
7	「健康や教育に関する指標の低下」。女性や子供が最も影響を受ける
8	「米国の分断」。政治的暴力のリスクが引き続き存在する
9	「米国の過激なZ世代」。1990年代半ばから2010年ごろに生まれた世代が新たな政治勢力に
10	「水不足」。世界の企業の3分の2が水不足に直面する

第3位の「人工知能(AI)」は、悪意を持ったAIの駆使でフェイクニュースが横行する現代に、一人ひとりは何が真実かを見極める判断力が求められています。

第9位に挙げられた「Z世代」はデジタルネイティブでお互いの情報共有によりスマホ一つで世界をも動かす力を持っているといわれ、新しい改革をもたらす期待もあり、逆に脅威ともなりえることをリスクとして挙げています。

AI技術の発展は、かつて、ノーベルがダイナマイトを発明し、土木工事や炭坑での作業に大きく貢献したが、一方でこれが武器として人々を殺傷する道具に使われてしまったことと酷似しているようです。

国民民主党、玉木代表の“たまきチャンネル”では第1位～3位について説明しています。

<https://youtu.be/9dMig7QGyde> をご覧ください。

ほかにもネットで「10大リスク」と検索して調べてみてください。

■ トウキディデイスの罍

世界の覇権国家に対して新興国家が力をつけてくるにつれ、いずれ両国は戦うことになるという古代アテネの歴史家の名にちなむ言葉です。現在の世界のリスクを見るにつけ、このような状況に近づいて見えるのは私一人ではないでしょう。全く人類は進歩していませんね。

■ 第211通常国会開幕(1月23日)

岸田首相の施政方針演説の前段です。

・世界は国際平和秩序の弱体化が顕著な中、気候変動問題、感染症対策などの地球規模の課題、世界中で生じている格差問題など、広義の持続可能性の課題へ挑戦
・世界の一体化と平和・繁栄をもたらすと信じられてきたグローバリゼーションの変質・変容で、サプライチェーンの不安定化、エネルギー・食料危機など、新たな方向に足を踏み出す
・現在の日本は「明治維新」「先の大戦」に続き3回目の歴史の分岐点に立っている。戦後77年続いてきたこれまでの時代の常識を捨て去り、強い覚悟と時代を見通すビジョンを持って、新たな時代にふさわしい、社会、経済、国際秩序を創り上げていかねばならない。

このような国内外の情勢認識の下に、多岐にわたる具体的な項目が述べられました。

情勢認識は是とし、ここではその内容について触れるのが目的ではなく、横文字についてです。方針演説の中にGX、DXといった横文字があります。

NHKはこのところ連日、衆院予算委員会の中継をしていますが、それを観ていると「育休中にリスクリングを」とか、外交問題で「前向きなモメンタム」など、なんでこんなに横文字、カタカナ言葉が並ぶのでしょうか。

江戸時代末期に多くの外国語が流入し、適切な日本語がなくて先人たちは新しい言葉を作ったというのに…。これが現代まさしく歴史の分岐点となっている表れなのではないでしょうか。横文字は世間にあふれていますね

■ 事務局から

今年度の総会を11日(土・祝日)に開催します。1月末現在で39人の総会参加回答をいただきました。総会は例年50人～60人の参加の基に開催されていましたが、3年ぶりの対面総会です。半数程度とした事務局想定よりも多くの参加回答でした。ご参加の皆様お気をつけてご参集ください。

事務局長 田代 周

